

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31103	無限の可能性開発講座Ⅱ Developing Communication & Social Skills Ⅱ	秦・千賀・江良(全員)		基礎	1	必修	1後期
<b>科目の概要</b>							
講座Ⅱでは、「無限の可能性開発講座Ⅰ」での取り組みをとおして身に付けた能力を基礎とし、社会人基礎力3つの能力の「考え抜く力」「チームで働く力」を念頭に、グループワークに重きを置き授業を展開する。特に、目標を達成するための話し合い、課題を解決しまとめ、発表するといった一連のワークをとおして、考え抜く力、チームの仲間とともに目標に向けて協力する力を培う。本学が教育の一環として取り組んでいる建学の精神や社会人基礎力について理解し、人間性を高めるとともに、pisa型学力も修得する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 課題発見力と計画力について学ぶ。(課題とその解決方法について論理的に考える方法を学ぶ) ② 発表において相手に分かり易く伝えるスキルを学ぶ。 ③ ディスカッションに必要な「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」等について学ぶ。 ④ ディスカッションを通して、「キャリア」「道徳」「人間性」「社会人基礎力」を深める。				① 課題とその解決方法について論理的に考える方法を理解することができる。 ② 発表において相手に分かり易く伝える工夫をすることができる。 ③ グループワークに取り組む際に、「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」意識することができる。 ④ 大学における学び、社会、災害、就職活動について、関心をもち、活動することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	授業は欠席せずに、積極的に参加した。					
	働きかけ力						
	実行力	グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。					
考え抜く力	課題発見力	実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。					
	計画力						
	創造力	授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決した。					
チームで働く力	発信力	話をする時は、思いついたまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話した。					
	傾聴力	相手の意見や伝えたいことに対して心から丁寧に耳を傾け、お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても相手の意見や立場を理解し尊重する。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」 参考文献：なし							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：本科目を通して身に付けた力は、他の基礎科目及び専門科目全般で発揮することにより、さらに力をつけることができる。 資格との関連：なし							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
授業は休まないことを約束してください。グループワークを主にした授業であるので、一人でも欠席すると他のメンバーに迷惑がかかることを常に考えること。				社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」を熟読しておくこと。 授業で行った内容を振り返り、自分自身の目標を考えること			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
④					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

・授業の最後には、授業で理解したことや感想など書いてもらいます。グループワークでの自分の行動を振り返り、次に活かしていくにはどうしたらよいか考えて書くこと。  
 ・課題として出された提出物は、きちんと書いてすべて提出すること。  
 ・知識と技術の獲得とそれを活用し、グループワークでの課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。

グループワークの結果を発表する機会を設けるので、わかりやすく伝えるために工夫をすること。

(主体性)  
 ・物事を一步でも前に進めるために、自発的に探し出し積極的に行動することができる。  
 (実行力)  
 ・グループワークの課題などチームで協力して進め、解決することができる。  
 (課題発見力)  
 ・実態の的確な把握と分析に基づき問題点を洗い出し、目的・目標達成のために提案できる。  
 (創造力)  
 ・授業で学ぶだけでなく、課題を自分なりに工夫して解決できる。  
 (発信力)  
 ・話をする時は、思いのまま話すのではなく、相手が理解しやすいように考えて話すことができる。  
 (傾聴力)  
 ・相手の意見や伝えたいことに対して丁寧に耳を傾ける。お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても、相手の意見や立場を理解し尊重できる。  
 (規律性)  
 ・遅刻・無断欠席など学習意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。  
 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神や社会人基礎力について良く理解できている。</li> <li>・課題レポートは期限までに提出でき、字数や記載内容も良く書いて問題ない。</li> <li>・発表ではわかりやすく、人に伝えようと工夫を凝らしている。</li> <li>・毎回、授業でおこなうワークに積極的に取り組むことができる。</li> <li>・授業で学んだ社会人基礎力などを日常生活の中に取り入れ、自らの社会人基礎力を伸ばそうと取り組んでいる姿がわかる。</li> </ul> <p>S :</p> <p>上記の基準に加えて、さらに学ぶ姿勢も良く、ワークなどではリーダー的な役割をしてグループをまとめようと努力している。</p>	<p>B :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神や社会人基礎力についても理解でき、日常生活に取り入れようとしている。</li> <li>・ワークに真面目に取り組むことができる。</li> <li>・課題のレポートは期日を守り提出できている。</li> </ul> <p>C :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の基準に比べ、課題レポートは期限までに提出できたが字数は少なく、記載内容も良くない。</li> <li>・建学の精神や社会人基礎力についてもあまり理解できていない。</li> <li>・授業もあまり積極的に取り組んでいない。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業内容、目標についてガイダンス 社会人基礎力「チームで働く力」① 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	講義・グループワーク(商店街の地図・砂漠からの脱出) 「チームで働く力」を意識してグループで取り組むアクティブラーニング。	・本授業の目的と内容の説明を聞いて理解することができる。 ・仲間と協力して、課題を最後まであきらめずに取り組み解決することができる。 ・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(予習)「社会人基礎力を育む学泉ノート」を読んでくる (復習)今回の授業を振り返り学んだことをノートにまとめ復習する	90	主体性
2	社会人基礎力「チームで働く力」② 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	グループワーク(隣町の歯医者者の地図・月面でのミッション) 「チームで働く力」を意識してグループで取り組むアクティブラーニング。 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・仲間と協力して、課題を最後まであきらめずに取り組み解決することができる。 ・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(予習)「社会人基礎力を育む学泉ノート」を読んでくる (復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	90	実行力 発信力 傾聴力 状況把握力
3	社会人基礎力「チームで働く力」③ 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	グループワーク(ピアノの発表会プログラム・ハヤブサ号殺人事件) 「チームで働く力」を意識してグループで取り組むアクティブラーニング。 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・仲間と協力して、課題を最後まであきらめずに取り組み解決することができる。 ・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(予習)「チームで働く力」について考えてくる (復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	90	実行力 発信力 傾聴力 状況把握力
4	グループで深めるテーマを共有する(各担当教員) 「各教員によるワーク①」 ・社会人基礎力12の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	講義・ワーク 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・仲間と協力して、課題を最後まであきらめずに取り組み解決することができる。 ・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	予習)「チームで働く力」について考えてまとめてくる (復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	90	主体性 傾聴力 規律性
5	グループで深めるテーマを共有する(各担当教員) 「各教員によるワーク②」 ・社会人基礎力12の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	講義・ワーク 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・仲間と協力して、課題を最後まであきらめずに取り組み解決することができる。 ・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(予習)前回までの授業で学んだ社会人基礎力についてまとめてくる (復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する	90	主体性 傾聴力 規律性
6	グループで深めるテーマを共有する(各担当教員) 「各教員によるワーク③」 ・社会人基礎力12の要素を活用して、生デ教員による幅広いテーマで授業を展開 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	講義・ワーク 前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・仲間と協力して、課題を最後まであきらめずに取り組み解決することができる。 ・チームにおける役割を理解でき協力できる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。	(予習)前回までの授業で学んだ社会人基礎力についてまとめてくる (復習)日常生活で、授業で学んだ社会人基礎力を実践する。	90	主体性 傾聴力 規律性
7	学びの泉グランプリ大会(学科予選)	学内見学	生活デザイン総合学科の各ゼミの代表チームの発表を静かに聴講することができる。	(予習)前回までの授業で学んだ社会人基礎力についてまとめてくる (復習)グランプリ大会学科予選に参加してのレポートを作成し期日までに提出する。	90	主体性 傾聴力 規律性
8	建学の精神をグループワークで深める 「おもいでぐさ」の分析	・「考え抜く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。	・おもいでぐさを読み解き、真心・努力・奉仕・感謝の四大精神を理解することができる。 ・各発表に対して評価することができる。	(予習)おもいでぐさを読んで、要点についてまとめておく。 (復習)分析した四大精神の内容を確認する。	90	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	共通テーマによるグループワーク1-① テーマ:避難所運営シュミレーション HUG -もし、あなたが避難所を運営しなければならぬ立場になったとき! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・地震についての講義。 ・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・まずは1~15番までのカードでシュミレーションをする。	・社会人基礎力3つの能力「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」の全てを意識して、発揮しようとしている。	(予習)地震について調べてくる。 (復習)運営シュミレーションの仕方を復習してくる。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	共通テーマによるグループワーク1-②(推進委員) テーマ:避難所運営シュミレーション HUG -もし、あなたが避難所を運営しなければならぬ立場になったとき! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・残り250番までのカードを全て読み上げ、配置するシュミレーションを行い、画像を残す。 ・Googleスライドとドライブを利用して、画像を管理する。 ・前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・社会人基礎力3つの能力「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」の全てを意識して、発揮しようとしている。	(予習)カードの用語を調べておく。 (復習)15番までの運営シュミレーションを復習してくる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
11	共通テーマによるグループワーク1-③(推進委員) テーマ:避難所運営シュミレーション HUG -もし、あなたが避難所を運営しなければならぬ立場になったとき! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・配置したカードを確認し、スライドを完成に向けて作成する。 ・Googleスライドとドライブを利用して、発表ができるように準備する。	・社会人基礎力3つの能力「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」の全てを意識して、発揮しようとしている。	(予習)発表がスムーズに行えるように確認し、修正を加える。 (復習)共有ドライブで運営シュミレーションを確認し、修正するよう復習してくる。	90	主体性 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	共通テーマによるグループワーク1-④(推進委員) テーマ:避難所運営シュミレーション HUG -もし、あなたが避難所を運営しなければならぬ立場になったとき! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・スライドを最終確認して、完成させる。 ・Googleスライドとドライブを利用して、発表する。	・社会人基礎力3つの能力「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」の全てを意識して、発揮しようとしている。	(予習)共有ドライブを確認して、発表原稿を作成してくる。 (復習)発表の反省・振り返りをまとめて復習してくる。	90	主体性 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	共通テーマによるグループワーク2-①(推進委員) テーマ:持続可能な開発目標 SDGs -もし、あなたが地球を救う担い手の一人になれたなら! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・SDGsについての講義 ・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・スマホやタブレットを利用してSDGsについて調べて、まとめる。	・調べたことを理解できる。 ・わからないことはグループの仲間に相談して解決できる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(予習)SDGsとは何かについて調べてくる。 (復習)SDGsについて調べてまとめたことを確認して、修正を加えるなど復習してくる。	90	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性
14	共通テーマによるグループワーク2-②(推進委員) テーマ:持続可能な開発目標 SDGs -もし、あなたが地球を救う担い手の一人になれたなら! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・各チームのコンセプト、目標とターゲットをGoogleスライドにまとめていく。 ・前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・グループワークの結果をまとめ、わかりやすい発表原稿を作成できる。 ・粘り強く、グループワークに参加することができる。 ・疑問があったら教員に積極的に質問できる。	(予習)発表原稿を作成する。 (復習)作成してスライドを共有ドライブで確認して、修正を加えるなど復習してくる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
15	共通テーマによるグループワーク2-③(推進委員) テーマ:持続可能な開発目標 SDGs -もし、あなたが地球を救う担い手の一人になれたなら! 獲得した知識を活用し、課題を解決するというpisa型学力も意識する。	・「チームで働く力」を意識してグループワークで取り組むアクティブラーニング。 ・Googleスライドとドライブを利用して、発表する。 ・前回、提出した感想文やレポートをフィードバックし、確認する。	・グループの一員として、協力し、発表できる。 ・他のグループの発表を聴くことができる。 ・一年間の無限の可能性の取り組みを振り返り今後活かすことができる。 ・授業の最後に、この授業で理解したことや感想など書いて提出できる。 ・発表では、わかりやすく大きな声で説明できる。	(予習)発表の準備をしてくる。 (復習)授業で学んだことを日常生活に取り組みめるようレポート作成。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力